

企業経営を楽しくするために、効果の出るやり方を作ってそれに集中しましょう。

%company%
%free1%
%free2%
%name_sama%

◆◆中小企業経営者列伝、第14弾。4回シリーズ

「人材は人財」をモットーに
お客様から評価される企業をつくり上げ

お客様に寄り添い
誠実に仕事することを何よりも大切にしている

娘に命を救われた男
ジェムグループ 代表 長坂五郎氏

- 【済】◆第1回 娘に命を救われる
- 【済】◆第2回 誠を貫く
- 【済】◆第3回 営業しないで業界を代表する企業に
- ◆第4回 東北大震災で7割の発電機が動かない

~~~~~  
第4回 東北大震災で7割の発電機が動かない

- 【目次】
- はじめに
  - 100年企業への道
  - 社会貢献の喜びとSDGsへの取り組み
  - 技術と人間力を兼ね備えた経営
  - 安全な社会を目指して
  - 最後に

2011年の東北大震災で、私はある痛ましい現実を目の当たりにしました。  
多くの非常用発電機が点検不備のために稼働せず、いざという時に機能しなかったのです。

本来、災害時にこそ命を守るための最後の砦となるべき設備が、いざという時に役に立たない——その現実が私の心を深く揺さぶりました。

それが私のひとつの大きな目標となったのです。

震災の教訓を忘れず、未来の災害に備え、そして安心して暮らせる社会を築くため、力を尽くす日々が始まりました。

## ■100年企業への道

独立してからずいぶんと年月が経ちましたが、私が目指しているのは、100年続く企業を創ることです。

人材は「人財」だと私は信じています。11年前、60歳でCEOに就任して以来、人材育成にさらに力を注いできました。ジェム・テクシアを100年企業に育て、年商500億円を目指す準備も進めています。

目標達成のために特に力を入れているのが、「人間力研修」です。学歴に関わらず、国家試験や資格取得に挑戦し続けることで、人間は成長し、周りに良い影響を与えられると考えています。

この研修では、いかにして周囲と協力し、共に大きな成果を生み出すかを教えています。技術はもちろん大切ですが、どれだけ人間として成長し、周囲から信頼されるかが最も重要だと感じています。

## ■社会貢献の喜びとSDGsへの取り組み

社会貢献も、私にとっては大切な取り組みです。

たとえば、消火栓ホースは法律で10年ごとに交換が義務づけられています。ですが、ほとんどの場合、10年間未使用で、新品同様のものがほとんどです。それが大量に廃棄されていく現状に、何か有効活用できないかと考え、トートバッグとして再利用するプロジェクトを始めました。

この消火栓ホースで作ったバッグは、見た目もおしゃれで、高島屋や三越でも扱ってもらえるようになりました。

デザインは革のバッグを手がける作家さんをお願いして、ホース製だとは見た目にわからないほど素敵な仕上がりです。

丈夫で防水性もあるため、バッグとして最適なんですよ。  
こうした取り組みを通じて、SDGs の理念にも積極的に貢献していきたいと考えています。  
こうした活動が評価され、アジア・ゴールデン・スター・アントレプレナー賞もいただきましたが、  
こうして社会に還元できることが、私にとっての大きな喜びです。

また、東北大震災以降、被災地支援にも関わってきました。  
子ども食堂への寄付や、クリスマスにケーキを届ける活動も行っています。  
こうして地域や社会に貢献することで、  
従業員たちにも社会とのつながりを実感してほしいと願っています。

#### ■技術と人間力を兼ね備えた経営

私の経営理念は「一流の技術、誠実な仕事、そして安心安全な社会を創る」です。  
従業員全員がこの理念を共有し、一丸となって社会に貢献していけるように、  
副社長が技術研修を担当し、私は人間力の育成に注力しています。

人間力の研修では、仕事を通じて社会にどんな貢献ができるのか、  
そして家族や自分の生活をより豊かにするためには何が必要かを考え、学んでもらっています。

こうした研修を経て、従業員たちは次々と資格を取得し、スキルを磨いています。

努力した分はしっかりと給与に反映し、休暇も充実させて、  
大手企業にも劣らない労働環境を整えているんです。

「こんなに良い会社が昔あったなら、自分もぜひ働きたかった」とよく冗談で言いますが、  
それも本音です。

#### ■安全な社会を目指して

「安全安心の社会を創る」というのが、私の変わらない願いです。

平成 27 年には、非常用発電機の点検についての啓発活動や技術者の育成を目的に  
「一般社団法人日本発電機負荷試験協会」を設立しました。

再論ですが、2011年の東北大震災で、私はある痛ましい現実を目の当たりにしました。多くの非常用発電機が点検不備のために稼働せず、いざという時に機能しなかったのです。

本来、災害時にこそ命を守るための最後の砦となるべき設備が、いざという時に役に立たない——その現実が私の心を深く揺さぶりました。

「このままではいけない。なんとしてもこの問題に取り組まなければ」という強い思いが、私の胸に燃え上がったのです。

その後、総務省消防局を訪れ「発電機の点検を徹底する仕組みが必要だ」と訴えましたが、「組織としての申し入れがなければ対応は難しい」という返答を受け、ならばと決意を固め、一般社団法人日本発電機負荷試験協会を設立するに至りました。

協会を通じて、全国に安全な点検技術を広めるための活動を始め、現在では発電機の負荷試験が法律で義務化されるまでになりましたが、これは一つの通過点にすぎません。

ジェム・テクシアは日本で唯一、こうした技術教育をメーカーに関係なく広くしかも専門的に行える会社です。

全国的な普及を目指し、協会として技術を学べる学校も設立しました。

他社に技術を教えるというのは大変な決断ですが、社会全体が安全になるなら、それが最良だと信じています。

## ■最後に

ジェム・テクシアの創業から現在に至るまで、私の歩みは技術への情熱と人との信頼で支えられてきました。

困難を乗り越え、人材育成や社会貢献に力を注ぎ、常に「誠」を貫いてきました。

東北大震災の経験を胸に、より安全で安心できる社会を築くため、これからも努力を続け、100年企業を目指していきます。私たちの思いと技術が未来の礎となることを願っています。

いかがでしたでしょうか？  
ご好評をいただきました、

中小企業経営者列伝、第 14 弾。  
娘に命を救われた男  
ジェムグループ 代表 長坂五郎氏

の連載はこれにて終了になります。

次回からは

◆テーマ「人生の夢や目標を叶える」

心の病気を治す方法と、巷で高額にて取引されている成功法則は同じプロセスです。

最先端の脳科学は行動経済学や心理学に適用されてきており  
特に欧米では、マーケティングやセールスにも応用されてきています。

その最新理論を 4 回に分けてお届けいたします。  
「夢を叶える超現実的な方法」

をお送りいたします。

次回はその第 1 回 潜在意識こそ最重要 です。  
お楽しみに！

編集長:岩下 一智 MRC

~~~~~  
■参考図書■Amazon 電子書籍

渋沢栄一翁の 合本主義「義利合一」の時代がきている

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~  
本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

[heart\\_gaia\\_gi@hosbiz.net](mailto:heart_gaia_gi@hosbiz.net)

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

[https://rinenkeieishi.net/mail\\_magazine/hayabusa.php](https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php)

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を
よろしく申し上げます。

次回、第 674 号は……

◆◆テーマ「人生の夢や目標を叶える」

心の病気を治す方法と、巷で高額にて取引されている成功法則は同じプロセスです。

最先端の脳科学は行動経済学や心理学に適用されてきており
特に欧米では、マーケティングやセールスにも応用されてきています。

その最新理論を 4 回に分けてお届けいたします。

「夢を叶える超現実的な方法」

をお送りいたします。

今回はその第 1 回 潜在意識こそ最重要

を 24・11・22(金)にお届けする予定ですので、
楽しみにしててくださいね。

※なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、
私たちは「世のため・人のため」になれない。
とクルー一同尽力しております。

■平本靖夫、50 年の経営支援家人生の集大成 第 1 弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！ 2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センター 執行役員

マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

*お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC